

**Tissue Engineering and Regenerative Medicine International Society  
European Chapter Meeting 2017 ポスター発表**

慶應義塾大学 環境情報学部 4 年 大竹悠互

**1. 活動日程・場所**

日程：2017 年 6 月 26 日 ～ 2017 年 6 月 30 日

会場：Davos Conference Center, Davos, Switzerland

**2. 活動の目的**

今回の活動の目的は、スイス・ダヴォスにて開催される、再生医療最大の国際学会 TERMIS (Tissue Engineering and Regenerative International Society) European Chapter Meeting 2017 にてポスター発表を行うことで、各分野に長けた世界各国の研究者と討論を行い、研究会内では気付くことができない視点の意見を取り入れ、自身の研究に厚みを持たせ、さらなる発展を目指すことである。本学会での発表は自身の研究だけではなく、研究会での再生医療研究にも大きな刺激になることが期待できる。

**3. 発表内容**

「Evaluation of Tumor Malignant Mechanism of Pancreatic Cancer Associated Fibroblasts」というタイトルでポスター発表を行った。膵臓がん細胞の悪性度・転移メカニズム亢進において、がん関連線維芽細胞 (Cancer associated fibroblasts ; CAFs) が深く関与していることは既を示唆されているが、種々の細胞系譜により作成された CAFs と膵臓がん細胞のインタラクションによる転移メカニズムについては全く報告例がない。本研究では *in vitro* において、がんの悪性度に関わる細胞増殖、遊走能、浸潤能、血管新生に関する評価を行った結果、CAFs 由来の液性因子ががん細胞の増殖、遊走へ関与することが示唆された。また、これらの結果を元にマイクロアレイによる遺伝子解析を行った結果、いくつかの遺伝子が膵臓がんの悪性度亢進に関与していることが推測された。本学会ではそれらの結果を元に成果を発表し、各国の研究者とディスカッションを行った。

**4. 活動の成果**

本学会でのポスター発表により、本研究の盲点となっていた点の指摘を受けたことで、今後の実験の軌道修正を行うことができた。また、英語でのディスカッションを行うことで、自分の専門分野の英語力を付けることができた。

## 5. 今後の展望

指摘を受けた箇所の再実験を行うことで、さらなる厚みをかけていきたい。また、本研究は国際論文の投稿を目指しており、本学会で得られた知識や情報を活用していきたいと考えている。

## 6. 謝辞

本学会参加にあたり、資金面でご援助いただきました湘南藤沢学会に厚く御礼申し上げます。



図 2 ポスターセッション会場

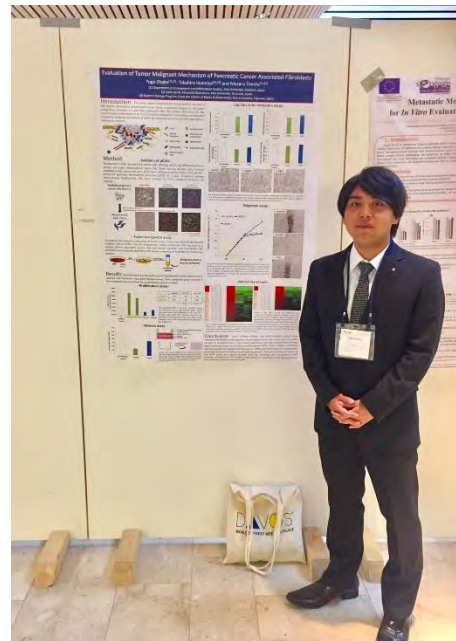


図 1 ポスターセッションの様子